

平成17年度市長と町会長のまちづくり懇談会

質問・要望報告書

ちはら台地区会

質問・要望(タイトル)	「かずさの道」を快適空間として再生	
質問者	町会名	ちはら台四季の丘自治会
	氏名	宮澤 俊明
質問順位		

【質問・要望とした経緯・背景・状況】

ちはら台の街づくりは、多くの公共・公益施設へのアプローチが、「かずさの道」を経て行くように配置されている。

その配置目的通り、「かずさの道」は、ちはら台住民にとって単なる散策道（緑道）のみならず、日常的に生活道として（子供から老人まで）、幅広く利用されている。

「かずさの道」は、出来て（ちはら台が開発分譲されて）から、約15年が経過した現在、各所で傷みが激しく、安全に憂慮する場所も多々ある状態となっている。

（既に土木部道路維持課には7月15日に修繕が必要な全箇所を記した要望書を手交しています）

また、「かずさの道」の景観向上に加えて、交通通行弱者（身障者、老人、妊婦等）にもやさしい道（階段とスロープの併設など）への改修をお願いするとともに、ジョギング・ウォーキング・犬の散歩にも考慮した再生をお願いする。

例として、転倒やひざ・腰の負担を軽減させる、適度なクッション性がある「弾性舗装」、夏場日中の通行時の快適性、および散歩時の犬への暑さへの消耗を軽減する「保水性舗装」を要望する。

ちはら台のメインの交通空間（歩行者・車）をより安全で快適なものとし、災害に強いまちづくりを要望します。

「かずさの道」再生は、「ちはら台地区自治会連合会」と共同で計画・実施を進めていくことをお願いする。